| 設備用パッケージエアコン仕様書　＜ファシレアDDシリーズ＞ | | | | 台 数 | | 記 号 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| セット形名 | PFHV-MP530DMJ-F | 室内 | PFAV-MP530DMJ-F | 室外 | PUHV-MP450DMJ (-BS, -BSG) | | |

御使用先　　殿

弊社工事番号

始動方式　インバータ

法定冷凍トン／台　6.65

製品質量(概算) kg　室内　226　室外　250

| 電源 | | V／Hz | 三相三線　200V／50Hz | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 冷房 | 暖房 |
| 能力 | | kW | 45.0(53.0)<br>( )は最大 | 40.0(45.0)<br>( )は最大 |
| 消費電力 | | kW | 12.4 | 11.5 |
| 運転電流 | | A | 39.5 | 36.8 |
| 運転力率 | | % | 90 | 90 |
| 室内 | 風量 | $m^3$/min | 70 | |
| | 機外静圧 | Pa | 125 | |
| | 電動機出力 | kW | 3.0 | |
| | 消費電力 | kW | 0.900 | 0.900 |
| | 運転電流 | A | 3.0 | 3.0 |
| | 始動電流 | A | － | |
| | 吸込空気 乾球温度 | ℃ | 33.0 | 7.0 |
| | 吸込空気 湿球温度 | ℃ | 28.0 | － |
| | 運転音 PWL | dB | 67 | 67 |
| 室外 | 風量 | $m^3$/min | 240 | |
| | 電動機出力 | kW | 0.75（送風機） | |
| | 消費電力 | kW | 11.5 | 10.6 |
| | 運転電流 | A | 36.5 | 33.8 |
| | 始動電流 | A | 15 | |
| | 吸込空気 乾球温度 | ℃ | 33.0 | 7.0 |
| | 吸込空気 湿球温度 | ℃ | － | 3.0 |
| | 運転音 PWL (1台当たり) | dB | 85.5 | 85.5 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 圧縮機用電動機定格出力 | | kW | 9.20(室外) | 吸込口形式 ／ 方向 | | ダクト ／ 背面 |
| 冷媒 ／ 冷凍機油 | | | R32／ｴｽﾃﾙ油 | 吹出口形式 ／ 方向 | | ダクト ／ 上面 |
| 圧力開閉器 (高低圧) | 高圧カット | MPa | 4.15 | 冷媒配管接続方向 | 室内 | 右・左 |
| | 低圧カット | MPa | － | | 室外 | 前、下<br>(ﾕﾆｯﾄ下面より前後左右に引き出し可能) |
| リモコン | 調節範囲 | ℃ | 〈冷房〉14～30 | 電源・伝送線接続方向 | 室内 | 右・左 |
| | | | 〈暖房〉17～35 | | 室外 | 前、下<br>(ﾕﾆｯﾄ下面より前後左右に引き出し可能) |
| クランクケースヒーター | | W | － | ドレン配管接続方向 | | 左（現地にて右に変更可） |
| エアフィルター(ろ材) | | | PPハニカム織 | | | |
| 塗装色 | 室内ﾕﾆｯﾄ | | マンセル　5Y　8/1 ＜近似色＞ | 室外ﾕﾆｯﾄ | | マンセル　5Y　8/1 ＜近似色＞ |
| 共通事項 | 冷媒配管長 | | 室外ユニット～室内ユニット間実長 165m以下 | | | |
| | 高低差 外機～内機 | | 室外ﾕﾆｯﾄ上の場合 50m以下　／　室外ﾕﾆｯﾄ下の場合 40m以下 | | | |
| | 延長配管径(液／ガス) | | φ12.7／φ28.58 | | | |
| | 使用温度範囲 室内ﾕﾆｯﾄ吸込 | | 〈冷房〉 湿球温度 10～35℃ 〈暖房〉 乾球温度 -3～25℃ | | | |
| | 使用温度範囲 室外ﾕﾆｯﾄ吸込 | | 〈冷房〉 乾球温度 15～43℃ （送風機運転中の送風機吹出し部は除く） | | | |
| | | | 〈暖房〉 湿球温度 -6.5～22.5℃ （送風機運転中の送風機吹出し部は除く） | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

注意事項

1. 冷房・暖房能力および運転特性は、JRA4074:2017の吸込空気条件で運転した場合の値です。
2. 騒音値はJRA4065:2025に基づいた値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
3. 室内ユニット周囲空気が露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。
4. 室内ユニット吸込空気乾球温度が冷房時15℃以下、暖房時25℃以上で強制ｻｰﾓOFF（送風状態）になります。
5. 室内ユニット吸込空気乾球温度が5℃以下の場合には、加湿器凍結防止・冷風感防止のため、強制的に暖房運転することがあります。
   また、異常時・除霜時は設定によってファンが停止しますが、加湿器を搭載しない場合や、暖房時に冷風吹き出しの影響を受けない場合は、
   リモコンの機能設定によりファン運転可能です。詳細は技術資料をご覧ください。
6. 室内ユニット吸込空気乾球温度は-3℃以上でご使用ください。-3℃以下では室内ユニットに結露が生じることがあります。
7. リモコンの調節範囲は吹出温度制御時の値です。室温制御時は＜冷房＞14～30℃、＜暖房＞17～30℃となります。
8. 暖房運転時、室内ユニット吸込空気を-3℃以上となるように一次処理する場合は、室外吸入空気湿球温度-20℃～25℃での運転が可能です。
9. 本機種は出荷時に吹出温度制御設定になっています。サーモOFFすると外気が直接室内に吹き出しますので、施工には十分ご注意ください。
   外気が人体や食品に直接あたると外気温度によっては健康障害や食品劣化等の原因になります。
   また、室温制御にすることも可能です。詳細は技術資料をご覧ください。室温制御で温度センサー(PAC-SE40TS-W)を使用される場合は、
   部屋の平均的な温度を検知できる場所に取り付けてください。
   ※温度センサー(PAC-SE40TS-W)は別売部品です。別売MAリモコン(2ヶ所リモコン)を室内に設置される場合は、
   リモコン内蔵センサーを使用して室温制御可能です。
10. 本機を室温制御に使用する場合は、オールフレッシュタイプ以外の空調機を併用してください。
    エアコンの運転状態により外気が未処理で室内に入り、室内の温湿度が大きく変化する場合があります。
    また、室内の除湿は直接行えませんので、室内の湿度が高くなるおそれがあります。そのため吹出ﾀﾞﾘﾙ等の結露に十分注意願います。
    吸込・吹出ﾀﾞｸﾄは結露防止のための断熱処理を必ず行ってください。
11. 本製品を長く安心してお使いいただくためには定期的な保守・点検が必要です。各部品の点検・保全周期については
    日本冷凍空調工業会発行のガイドラインを参考にしてください。
12. データモニタリング機能は、2リモコンでご使用の場合「主－従」設定で「主」に設定したリモコンのみご使用できます。
13. 加湿器は冷房時ご使用できません。
14. JRA GL-19に基づき、安全対策の確認および回路検査（１年に１回以上）が必要です。また、JRA4068に基づく冷媒漏えいセンサーの交換が必要です。
    詳細は設備用パッケージエアコンの施工/サービスマニュアル（R32冷媒対応）をご覧ください。

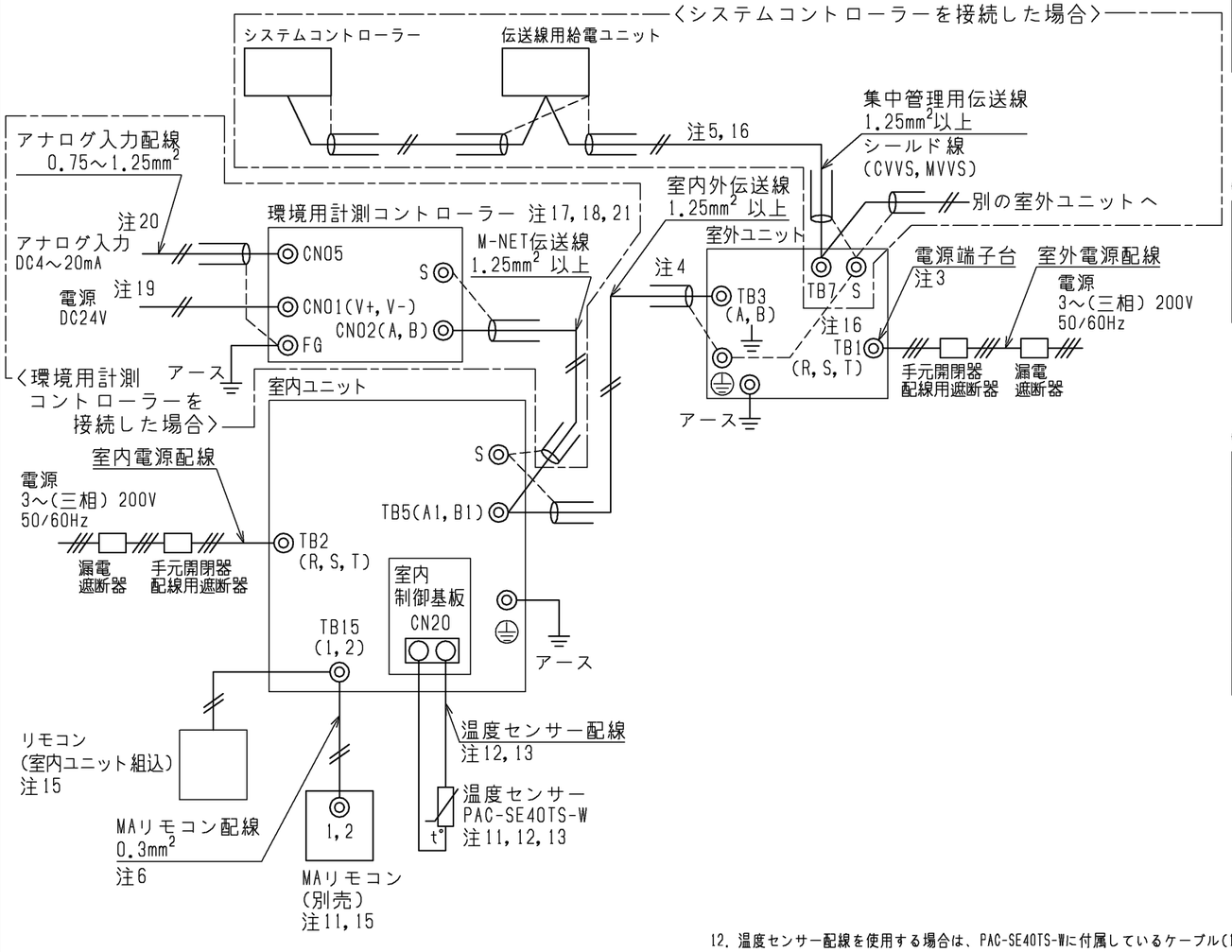
標準外仕様

| 添付図面 | 外形図（室内）KP94C3L9　電気配線図（室内）KP94C3J3　機外配線図　KP94C3M5<br>外形図（室外）KB94CBY9　電気配線図（室外）KE94L645 |
|---|---|

*除外工事　据付･基礎工事､給排水工事､電気接続工事､ﾀﾞｸﾄ工事､防熱工事､電源開閉器､温調･湿調用電磁弁､逆止弁､本仕様書に明示無き事項。

| 三菱電機株式会社 | 日付 | 26-10-15 | 仕様書番号 | WYNC3-8984-5 | 副番 | － |
|---|---|---|---|---|---|---|

# 三菱電機 パッケージエアコン
# PFHV-MP530DMJ-F 機外配線図




注1. 伝送線は全て2線式で極性がありません。
2. ◎ 印はネジ端子台、□印は基板挿込みコネクターを示します。
3. 室外電源配線は、端子台TB1に接続してください。
4. 伝送線(シールド線)のシールド側は必ず室外ユニットのアース端子に
接続してください。また、室内ユニットへの渡り配線(伝送線)の
シールドアースは、室内ユニットのS端子(シールド)へ接続してください。
(シールドアースは図中、破線にて示しています)
5. システムコントローラーを集中管理用伝送線に接続する場合、
システムコントローラーの給電機能を利用してください。
システムコントローラーに給電機能が無い場合は伝送線用給電ユニットを接続してください。
6. MAリモコンの配線長は最大200mまで可能です。
MAリモコンペア接続時は100m以内にしてください。
7. 室内ユニットを同一グループにする場合は、システムコントローラーにより
登録してください。
8. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
9. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて
使用してください。
10. 過電流保護器はB種ヒューズを使用する場合について示します。
11. 室温制御で温度センサー(PAC-SE40TS-W)を
使用される場合は、部屋の平均的な温度を検知できる場所に取付けてください。
※温度センサー(PAC-SE40TS-W)は別売部品です。
MAリモコン(別売)を室内に設置される場合は、リモコン内蔵センサーを使用して室温制御可能です。
また、吹出空気温度制御にすることも可能です。詳細は室内ユニットの電気配線図を参照してください
12. 温度センサー配線を使用する場合は、PAC-SE40TS-Wに付属しているケーブル(10m)を
使用してください。10mを超える場合は、③制御配線表の仕様に従って配線してください。
温度センサーの設置方法は、温度センサー(PAC-SE40TS-W)の据付工事説明書と室内ユニットの
据付工事説明書を必ず参照してください。
13. シールド線にて延長される場合は、次の据付条件に従って配線してください。
①動力線(強電系)とは、300mm以上離してください。
②インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器などの影響を受けないように
配線してください。
③シールド線は、室内ユニットのアース端子へ接続してください。
14. 製品の故障、電源配線不良などにより大電流が流れた場合、製品側の遮断器と上位側の遮断器が
共に作動することがあります。設備の重要度により電源系統を分割するか、遮断器の保護協調を
とってください。
15. M-NETリモコンは使用できません。
16. M-NET集中管理用伝送線のシールドは、一点アース処理が必要です。
給電機能を有するコントローラーまたは伝送線用給電ユニットから給電する場合は、
室外ユニットのS端子(シールド)とアース端子は接続せず、給電する装置側でアース処理を
実施してください。詳細は、システムコントローラーの据付工事説明書を参照してください。
17. 環境用計測コントローラー(PAC-YG63MC1)は別売部品です。
18. 環境用計測コントローラーは防水構造ではありません。必ず屋内の制御盤内に設置してください。
本体サイズは200(W)×120(H)×45(D)mmです。本体周囲に100mm以上のスペースを設けてください。
19. DC24V電源には供給の一次側にバリスタ、アレスタ、ノイズフィルター、ヒューズなどで
構成される回路を取付けてください。
20. アナログ入力によるデマンドは多段デマンドとなります。
21. アナログ入力を受けてから環境用計測コントローラーがデマンド信号を出力するまで
最大1分間の時間遅れが生じます。また、デマンド出力から実際にユニットの能力に
反映されるのにも時間遅れが生じます。

### ①室内ユニット 電線太さ及び開閉器容量

| 形名 | 電動機出力 | 電線太さ | | 漏電遮断器 ※1 | 手元開閉器 | | 配線用遮断器 | 最大こう長 ※4 | 室内ユニット最大電流 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 電源配線 | アース | | 開閉器容量 | 過電流保護器 | | | |
| PFAV-MP530DMJ-F | 3.0kW | 1.6mm | 1.6mm | 15A ※3 | 15A | 15A (B種ヒューズ) | 15A | 19.0m | 12.0A |

※1 電源には必ずインバーター回路用漏電遮断器(三菱電機NV-Cシリーズまたは、その同等品)を取付けてください。
※2 加熱器等を組込んで本体と同一電源にする場合は、内線規程に従って再選定してください。
※3 漏電遮断器は感度30mA 0.1s以下を使用してください。
※4 電源配線のこう長は電源から室内ユニットまでの電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。

### ②室外ユニット 電線太さ及び開閉器容量

| セット形名 | 室外構成ユニット形名 | 電線太さ | | 漏電遮断器 ※6 | 手元開閉器 | | 配線用遮断器 | 最大こう長 ※8 | 室外ユニット最大電流 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 電源配線 | アース | | 開閉器容量 | 過電流保護器 | | | |
| PFHV-MP530DMJ-F | PUHV-MP450DMJ | 38mm² | 5.5mm² | 75A ※5 | 75A | 75A (B種ヒューズ) | 75A | 74.0m | 63.7A |

※5 漏電遮断器は感度100mA 0.1s以下を使用してください。
※6 電源には必ずインバーター回路用漏電遮断器(三菱電機NV-Cシリーズまたは、その同等品)を取付けてください。
※7 電源配線の太さは、ご使用になる配線種・周囲温度により異なる場合がありますので、内線規程に従って選定してください。
※8 電源配線のこう長は電源から室外ユニットまでの電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。

### ③制御配線

| 配線 | 電線太さ | 配線の種類 | 総延長 |
|---|---|---|---|
| 室内外伝送線 | 1.25mm²以上 | シールド線 CVVS,MVVS | 最大 200m |
| 集中管理用 | 1.25mm²以上 | シールド線 CVVS,MVVS | 最大 200m |
| MAリモコン配線 | 0.3mm² ※9 | VCTF,VCTFK,CVV,CVS, VVR,VVF,VCT | 注6 |
| 温度センサー配線 | 1.25mm²以上 | シールド線 CVVS,MVVS | 最大 200m |

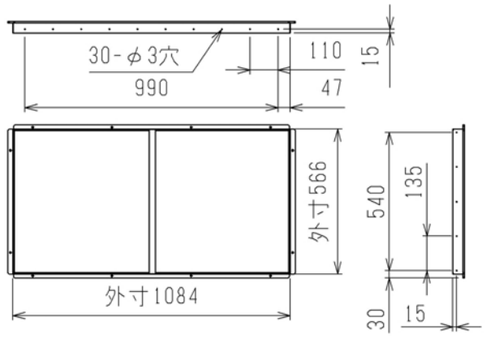
※9 シース付き0.3mm²ケーブルを使用してください。

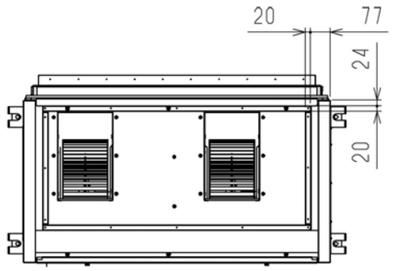
本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-08-26 | | 三菱電機 パッケージエアコン PFHV-MP530DMJ-F 機外配線図 |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. W KP94C3M5 | REV. * / PAGE 1/1 |

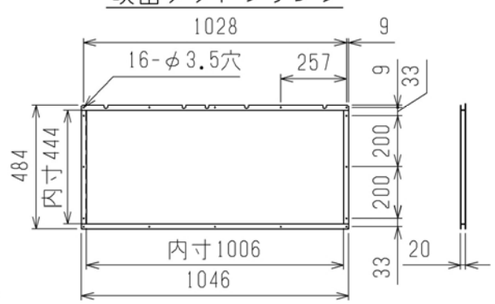
*

吸込ダクトフランジ



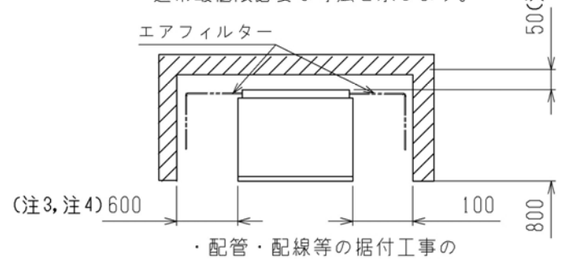




吹出ダクトフランジ

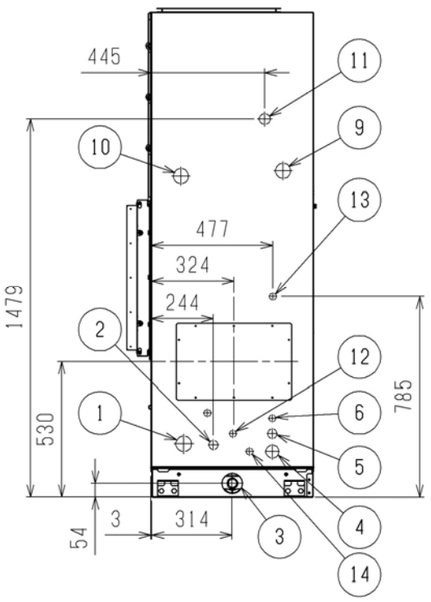


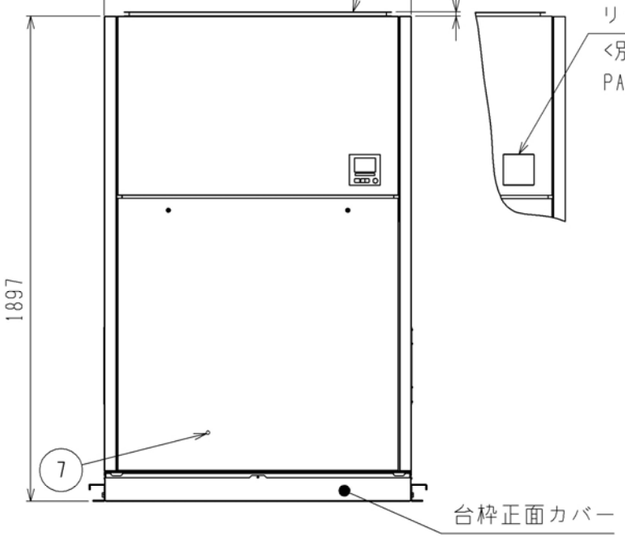

通風・サービススペース

通常最低限必要な寸法を示します。



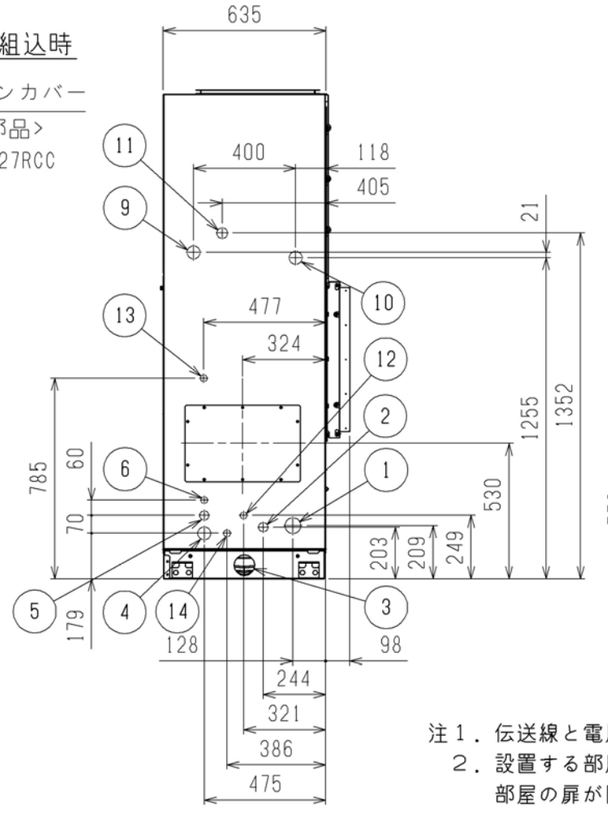

・配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。

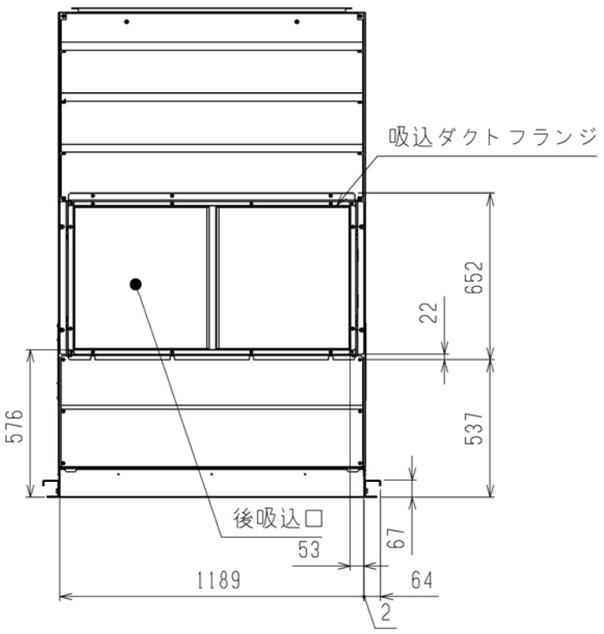


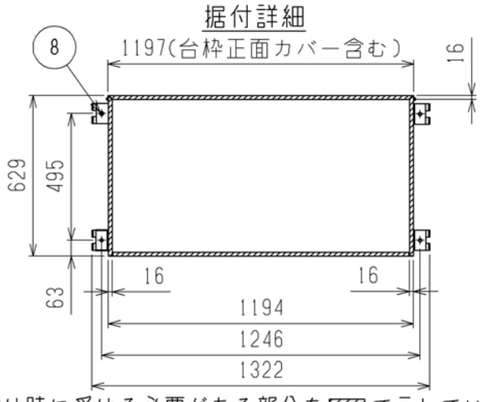

リモコンカバー組込時




据付詳細




据付け時に受ける必要がある部分を▨で示しています。

| NO. | 名称 | NO. | 名称 |
|---|---|---|---|
| 1 | 冷媒配管<ガス>・・・φ28.58ろう付 | 8 | 基礎ボルト穴・・・4-φ14 |
| 2 | 冷媒配管<液>・・・φ12.7ろう付 | 9 | 蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気入口・温水出口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ:Rc1 ½) |
| 3 | ドレン穴・・・Rp1 | 10 | 蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気出口・温水入口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ:Rc1 ½) |
| 4 | 装置電源穴・・・φ52ノックアウト穴 | 11 | 遠方操作キット配線穴・・・φ43ノックアウト穴 |
| 5 | 電線穴・・・φ37ノックアウト穴 | 12 | 加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーパン:R½,蒸気スプレー:Rc½) |
| 6 | 室内外連絡線穴,伝送線穴・・・φ27ノックアウト穴 | 13 | 加湿器配線穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーパン) |
| 7 | アース端子(制御箱内に設置)・・・M5ねじ | 14 | 加湿器配線穴・・・φ27ノックアウト穴(蒸気スプレー) |

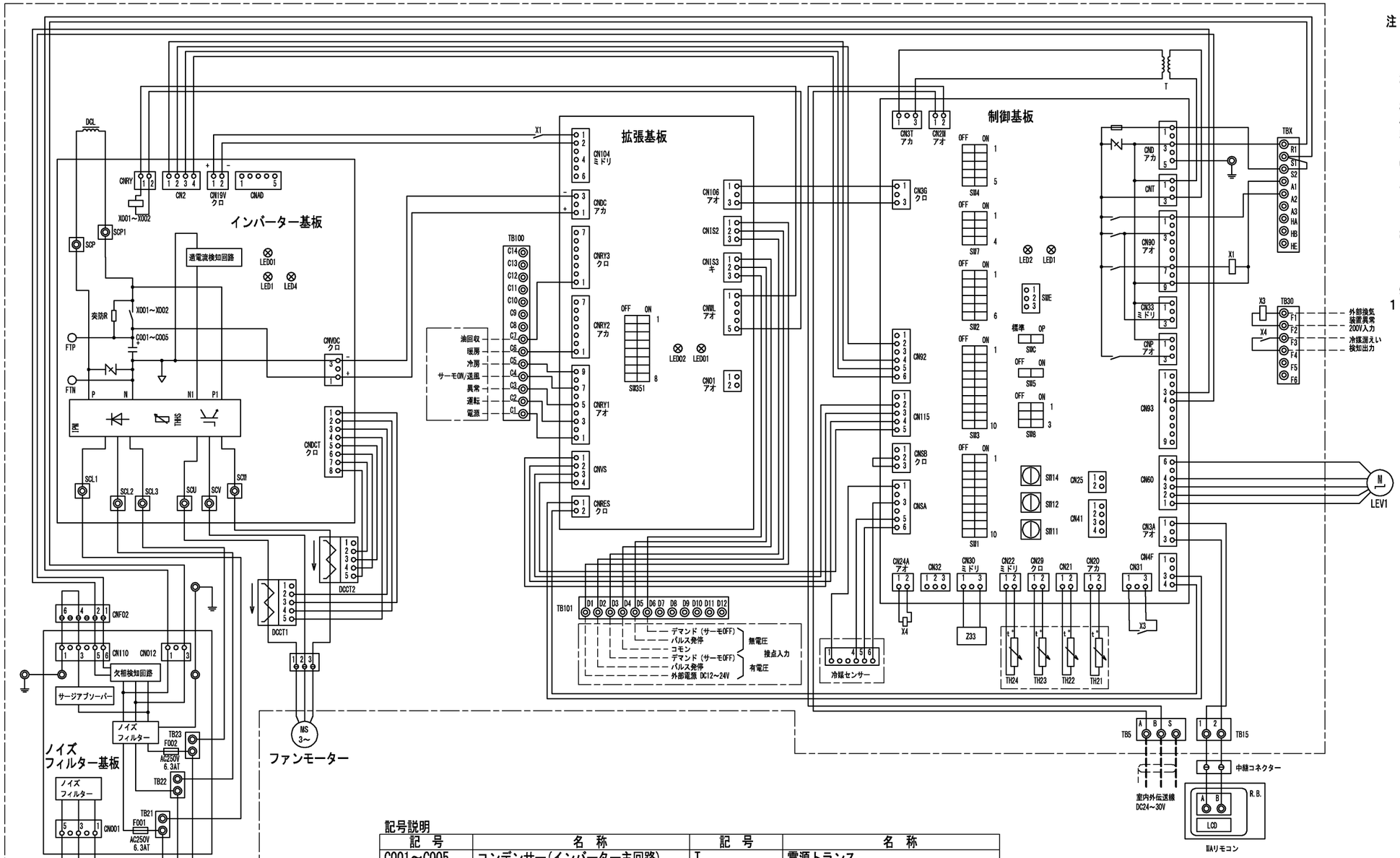
注１．伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
２．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、
部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、
室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
３．エアフィルターサービススペース(600mm)をユニットの左側面又は右側面に
必ず確保してください。
配管の施工方法によってはフィルターが引き出せなくなる恐れがあります。
フィルターの引き出し経路に配管がないことを必ず確認してください。
４．熱交換器の交換など重サービス時にはユニットの移動が必要となります。
ユニットの移動ができない場合は両側面に600mm,背面に500mmのスペースを
確保して施工してください。
５．ドレンパンのドレン管は、工場出荷時は左取出しとなっています。
右取出しにする場合は、ドレンパンを取外して向きを変更してください。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-09-30 | | 床置ダクト形室内ユニット外形図 PFAV-MP530DMJ-F |

| 尺度 SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. | REV. | PAGE |
|---|---|---|---|---|
| DO NOT SCALE | | W KP94C3L9 | A | 1/1 |

A




注1. ーーーー(太破線):現地配線を示します。
　　－－－－(細破線):外部入出力用の現地配線を示します。
　　ーーーー(中 一点鎖線):別売配線を示します。
　　－－－－(細 一点鎖線):制御箱境界を示します。
2. ◎印は端子台、⊖印は中継コネクター、
　　◻印は基板差込みコネクターを示します。
3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
4. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
5. 緊急停止入力は、端子台TBX(S1-S2間)の短絡線を外して、
　　そこに緊急停止スイッチなどを配線接続してください。
6. 遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)は別売部品です。
　　レベル発停用スイッチ:遠方発停用アダプターに接続してください。
7. 制御基板のSW1-5を使用用途に応じて設定してください。
　　送風機状態出力　:SW1-5 OFF(工場出荷時設定)
　　サーモON状態出力:SW1-5 ON
8. ルームサーモ仕様にてご使用の場合は、
　　製品内蔵のTH21は機能致しません。
　　別売温度センサー(PAC-SE40TS-W)を接続、
　　または現地回路接続してください。
9. 各入力の接点は微少電流用(DC12V 1mA以下)を使用してください。
10. 室温制御で別売部品の温度センサー(PAC-SE40TS-W)を
　　使用される場合は、コネクターをCN20に接続し部屋の平均的な
　　温度を検知できる場所に取り付けてください。
　　また、制御基板のSW7-2をOFFにしてください。

●外部入出力配線仕様

| 項　目 | 内　容 |
|---|---|
| 適合入出力<br>伝送線ｻｲｽﾞ<br>(信号線) | CV,CVSまたは<br>これらに相当するもの<br>単線:φ0.65mm～φ1.2mm<br>撚線:0.5mm² ～1.25mm² |
| 信号線配線距離 | 外部出力:MAX100m<br>外部入力:MAX100m |

●入力仕様

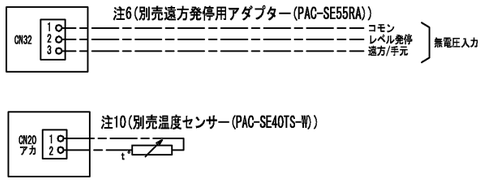
| 機　能 | 使用用途 | 信号仕様 |
|---|---|---|
| パルス<br>発　停<br>(注9) | ON/OFF指令を<br>出すことがで<br>きます。 | ﾊﾟﾙｽ(有電圧/無電圧a接点)<br>(有電圧の場合)<br>電源:DC12V～24V<br>電流:約10mA(DC12V時)<br>200ms以上 200ms以上<br>(ﾊﾟﾙｽ通電時間) (ﾊﾟﾙｽ間隔) |
| レベル<br>発　停<br>(注6)<br>(注9) | ON/OFF指令を<br>出すことがで<br>きます。 | ﾚﾍﾞﾙ(無電圧ａ接点)<br>遠方／手元<br>ON / OFF<br>ﾘﾓｺﾝ: 運転/停止はできません / 運転操作ができます<br>ﾚﾍﾞﾙ発停 ON: 運転 / OFF: 停止 / 運転/停止はできません |
| デマンド<br>(注9) | デマンド指令<br>(サーモOFF)を<br>出すことがで<br>きます。 | ﾚﾍﾞﾙ(有電圧/無電圧a接点)<br>(有電圧の場合)<br>電源:DC12V～24V<br>電流:約10mA(DC12V時) |

●出力仕様

| 機　能 | 使用用途 | 信号仕様 |
|---|---|---|
| 運転 | 外部へ運転信号が<br>取り出せます。 | リレーa接点出力<br>DC30Vまたは<br>AC100V/200V<br>接点定格電流:500mA<br>接点最小負荷:10mA |
| 異常 | 外部へ異常信号が<br>取り出せます。 | |
| 送風機・<br>サーモON<br>(注7) | 外部へ送風機運転・<br>サーモON信号が<br>取り出せます。 | |
| 冷房 | 外部へ冷房信号が<br>取り出せます。 | |
| 暖房 | 外部へ暖房信号が<br>取り出せます。 | |
| 油回収 | 外部へ油回収信号が<br>取り出せます。 | |

記号説明

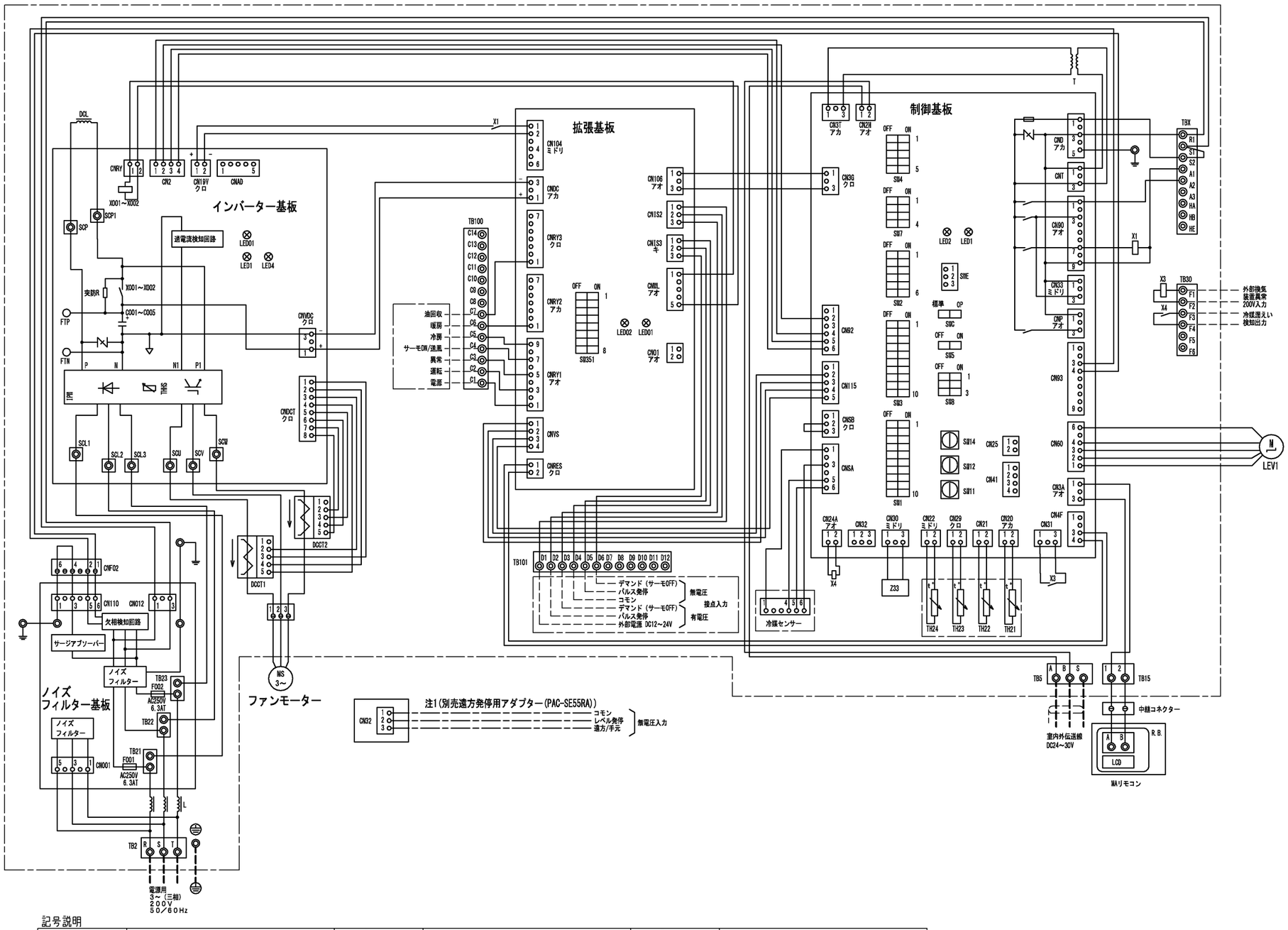
| 記　号 | 名　称 | | 記　号 | 名　称 | |
|---|---|---|---|---|---|
| C001～C005 | コンデンサー(インバーター主回路) | | T | 電源トランス | |
| CN25 | コネクター<br>(制御基板) | 加湿器 | TB2 | 電源端子台 | |
| CN32 | | 遠方発停切替など | TB5 | 伝送端子台 | |
| CN33 | | 霜取運転時出力 | TBX(S1,S2) | 緊急停止用端子台 | |
| CN41 | | HA入力 | TBX(A1,A2,A3) | 別売接続用端子台 | |
| CNP | | 蒸気・温水ヒーター | TB15 | MAリモコン用端子台 | |
| CN01 | コネクター<br>(拡張基板) | 暖房出力(遠方操作キット用) | TB30 | 冷媒漏えい検知出力用端子台 | |
| | | | | 外部換気装置異常入力用端子台 | |
| DCL | 直流リアクター(力率改善用) | | TB100 | 遠方表示出力用端子台 | |
| DCCT1,DCCT2 | インバーター出力電流検知用 (U相、W相) | | TB101 | 発停／デマンド設定用端子台 | |
| LCD | 液晶表示器 | | TH21 | 吹出温度検出用サーミスター | |
| LEV1 | 電子式リニア膨張弁 | | TH22 | 配管温度検出用サーミスター(液) | |
| R.B. | リモートコントローラーボード | | TH23 | 配管温度検出用サーミスター(ガス) | |
| SW1 | スイッチ<br>(制御基板) | 機能切換 | TH24 | 外気温度検出用サーミスター | |
| SW2 | | 能力設定 | X1 | 電磁継電器 | インバーター基板用 |
| SW3 | | 機能切換 | X3 | | 外部換気装置異常入力用 |
| SW4 | | 機種設定 | X4 | | 冷媒漏えい検知用 |
| SW5 | | 機能切換 | X001～X002 | | 72C |
| SW7 | | 機能切換 | Z33 | モーター識別抵抗 | |
| SW8 | | 能力設定 | | | |
| SW11 | | アドレス設定用 1の位 | | | |
| SW12 | | アドレス設定用 10の位 | | | |
| SW14 | | 分岐口No.ペアNo.用 | | | |
| SWC | | 機能切換 | | | |
| SWE | | ファン試運転用 | | | |




本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-06-16 | | 床置ダクト形室内ユニット　電気配線図<br>PFAV-MP530DMJ-F |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | | DWG.NO. W KP94C3J3 / REV. / PAGE 1/1 |

*

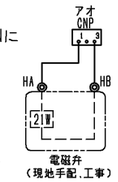



記号説明

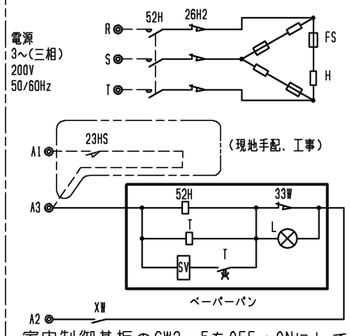
| 記号 | 名称 | | 記号 | 名称 | | 記号 | 名称 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C001～C005 | コンデンサー（インバーター主回路） | | SW1 | スイッチ（制御基板） | 機能切換 | TBX(S1,S2) | 緊急停止用端子台 | |
| CN25 | コネクター（制御基板） | 加湿器 | SW2 | | 能力設定 | TBX(A1,A2,A3) | 別売接続用端子台 | |
| CN32 | | 遠方発停切替など | SW3 | | 機能切換 | TB15 | MAリモコン用端子台 | |
| CN33 | | 霜取運転時出力 | SW4 | | 機種設定 | TB30 | 冷媒漏えい検知出力用端子台 | |
| CN41 | | HA入力 | SW5 | | 機能切換 | | 外部換気装置異常入力用端子台 | |
| CNP | | 蒸気・温水ヒーター | SW7 | | 機能切換 | TB100 | 遠方表示出力用端子台 | |
| CNO1 | コネクター（拡張基板） | 暖房出力(遠方操作キット用) | SW8 | | 能力設定 | TB101 | 発停／デマンド設定用端子台 | |
| DCL | 直流リアクター(力率改善用) | | SW11 | | アドレス設定用 1の位 | TH21 | 吹出温度検出用サーミスター | |
| DCCT1,DCCT2 | インバーター出力電流検知用（U相、W相） | | SW12 | | アドレス設定用 10の位 | TH22 | 配管温度検出用サーミスター(液) | |
| LCD | 液晶表示器 | | SW14 | | 分岐口No.ペアNo.用 | TH23 | 配管温度検出用サーミスター(ガス) | |
| LEV1 | 電子式リニア膨張弁 | | SWC | | 機能切換 | TH24 | 外気温度検出用サーミスター | |
| R.B. | リモートコントローラーボード | | SWE | | ファン試運転用 | X1 | 電磁継電器 | インバーター基板用 |
| | | | T | 電源トランス | | X3 | | 外部換気装置異常入力用 |
| | | | TB2 | 電源端子台 | | X4 | | 冷媒漏えい検知用 |
| | | | TB5 | 伝送端子台 | | X001～X002 | | 72C |
| | | | | | | Z33 | モーター識別抵抗 | |

## 蒸気・温水ヒーター

暖房用ヒーターとして使う場合
① 室内制御基板のSW7－1をOFF→ONにしてください。（注5）
② 本図の配線接続の他に注5に示す対応が必要です。
③ 21Wは、200V 1A以下の物を使用してください。
電流容量が1Aを以上になる場合は、リレー受けしてください。
④ 機能設定No.25を"3"にしてください。
（出荷時設定は"3"）

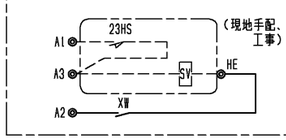



## ベーパーパン加湿器

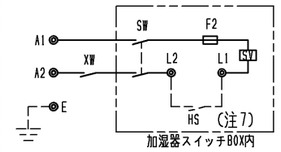



室内制御基板のSW3－5をOFF→ONにしてください。

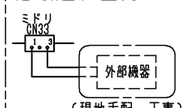
## 蒸気スプレー加湿器




## 滴下浸透気化式加湿器（推奨品）




## 霜取運転出力コネクター



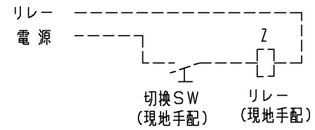

AC200Vが出力されます。
電流は必ず1A以下になるようにしてください。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | | | |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 作成日付 ISSUED: 2026-09-01 | 改定日付 REVISED | TITLE: 床置きダクト形室内ユニット主要部品組込電気配線図 PFAV-MP530DMJ-F |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. W KP94C3ML | REV. * / PAGE 1/2 |

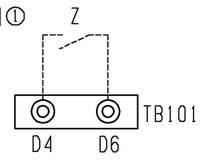
*

注１．遠方発停用アダプターの接続要領は、標準電気配線図をご参照ください。
２．本ユニットは受注要求仕様により、本図に示す電気回路(該当部分のみ)を組込んでいます。
３．蒸気スプレー加湿器、ベーパーパン加湿器は２３ＨＳ(湿度調節器)を使用しない場合、
端子台のＡ１とＡ３を短絡してください。
４．電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
５．蒸気・温水ヒーターは、ヒートポンプ暖房または蒸気・温水による暖房の切換運転になります。
※ヒートポンプ暖房と蒸気・温水暖房を同時に運転することはできません。
下記要領に従って、ＳＷ設定、配線接続してください。
1)ＳＷ７－１をＯＮに設定してください。
2)下図のように切換ＳＷ、リレーを設けてください。(現地手配)




●切換ＳＷ(現地手配)
ＯＮで蒸気・温水暖房(圧縮機は運転しません)
ＯＦＦでヒートポンプ暖房(電磁弁(現地手配)は動作しません)
※接点が微小電流用(DC12V 1mA相当)の場合、下記リレー(現地手配)は不要です。
下図①のように端子台へ接続してください。

図①




●リレー(現地手配)
微小電流対応(DC12V 1mA相当)のものを使用してください。
3)冷房運転時は上記切換ＳＷ(現地手配)を必ずＯＦＦにしてください。
ＯＮの状態では圧縮機が運転しません。
4)蒸気・温水ヒーター使用時は、室温制御でご使用ください。
吹出温度制御で使用すると、サーモＯＮ／ＯＦＦを繰り返し、吹出温度が安定しません。
６．本図は主要部品組込時の配線図を示します。
標準のみの電気配線接続は、標準の電気配線図を参照してください。
７．ヒューミディスタットをご使用の際は、
端子台Ｌ１、Ｌ２の短絡線を外してヒューミディスタットを接続してください。
８．滴下浸透気化式加湿器組込時は、蒸気・温水ヒーターとの併設はできません。

追加部品記号説明

| | 記　号 | 名　称 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 蒸気・温水ヒーター | 21W | 電磁弁 | 現地手配 |
| 滴下浸透気化式加湿器 | HS | ヒューミディスタット | 現地手配 |
| | SV | 電磁弁 | 加湿器付属 |
| | XW | 補助継電器 | 加湿器付属 |
| | F2 | ヒューズ<0.5A> | 加湿器付属 |
| | SW | スイッチ | 加湿器付属 |
| ベーパーパン加湿器 | 52H | 電磁接触器 | 別売付属 |
| | 26H2 | サーマルカットアウト | 別売付属 |
| | FS | 温度ヒューズ | 別売付属 |
| | H | シーズヒーター | 別売付属 |
| | 23HS | 湿度調節器 | 現地手配 |
| | T | タイマー | 別売付属 |
| | SV | 電磁弁 | 別売付属 |
| | L | 断水ランプ | 別売付属 |
| | 33W | 断水スイッチ | 別売付属 |
| | XW | 補助継電器 | 別売付属 |
| ＭＡリモコン | 製品本体記号説明　参照 | | |
| 蒸気スプレー加湿器 | 23HS | 湿度調節器 | 現地手配 |
| | SV | 電磁弁 | 現地手配 |
| | XW | 補助継電器 | 別売付属 |

(室内機と別電源仕様)電気設備容量

| | 電線太さ | 漏電遮断器 | 手元開閉器 | | 配線用遮断器 | 最大こう長 ※2 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 開閉器容量 | 過電流保護器 (B種ヒューズ) | | |
| ベーパーパン加湿器 | 2.0mm² | 20A ※1 | 15A | 15A | 20A | 18m |

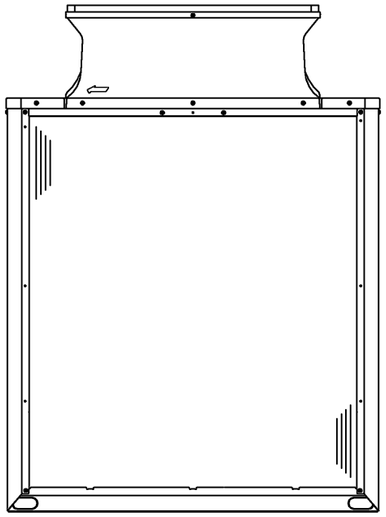
※1 漏電遮断器は感度30mA,0.1s以下を使用してください。
※2 電源配線のこう長は電源から別売部品までの電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。

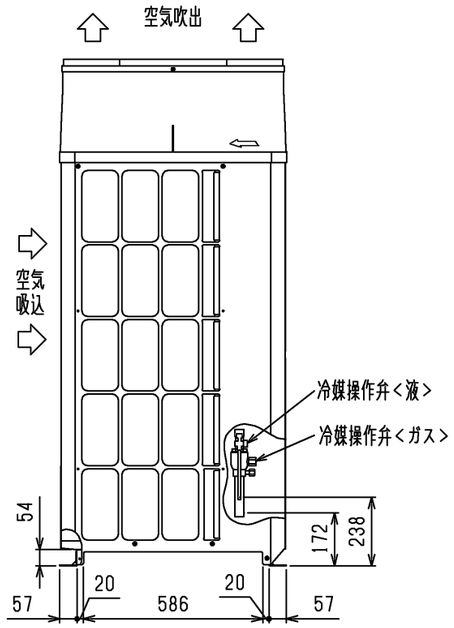
本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

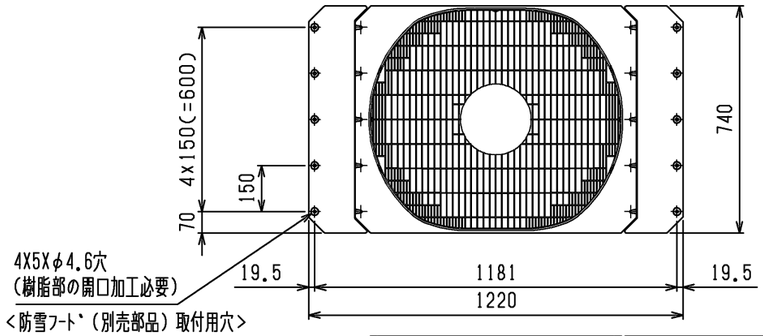
| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-09-01 | | 床置きダクト形室内ユニット 主要部品組込電気配線図 PFAV-MP530DMJ-F |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. W KP94C3ML | REV. * / PAGE 2/2 |

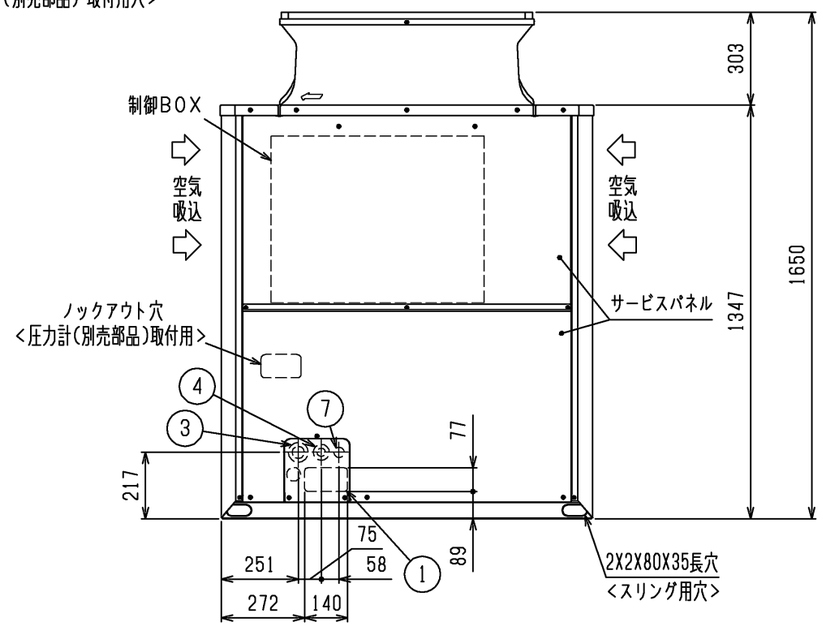
*

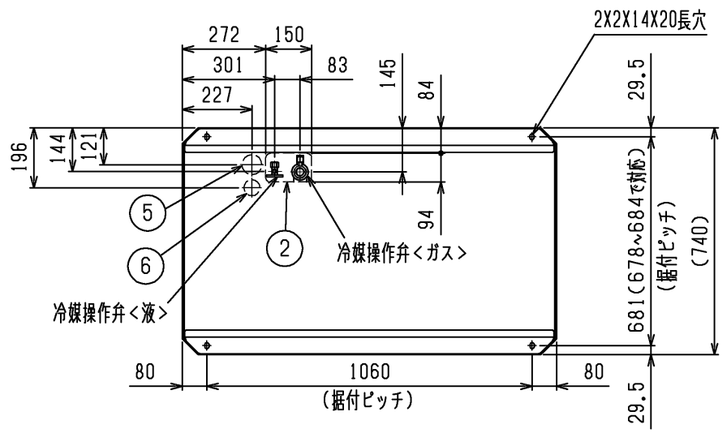
注1．ユニット周囲の必要空間と基礎施工時の
　　注意事項は、（2／2）を参照してください。
　2．ろう付時は、操作弁本体へ濡れタオル等を巻き、
　　本体温度が１２０℃以上にならない様にしてください。
　3．背面用網は、別売部品でご用意しています。
　4．別売部品取り付けの際には、取り付け後の外形寸法に
　　応じたユニット間隔としてください。






接続管仕様

| 形　名 | 単独/組合せ | 最遠配管長条件※1 | 冷媒配管径 | | 操作弁口径 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 液側 | ガス側 | 液側 | ガス側 |
| MP450DMJ形 | 単独使用 | - | φ12.7　ろう付 ※3 | φ28.58 ろう付 ※2 | φ15.88 | φ28.58 |
| MP450DMJ形 | 組合せ使用 | - | φ15.88 ろう付 ※2 | φ28.58 ろう付 ※2 | φ15.88 | φ28.58 |

※1・・・室外ユニット～室内ユニットの配管相当長となります。
※2・・・現地配管を拡管して直接操作弁にろう付してください。
※3・・・管継手(現地手配)又は弊社サービス部品を使用し、現地配管を操作弁へろう付してください。

| NO. | 用途 | | ノックアウト穴仕様 |
|---|---|---|---|
| ① | 配管用 | 前面通し穴 | 140x77 |
| ② | | 底面通し穴 | 150x94 |
| ③ | 電源配線用 | 前面通し穴 | φ65もしくはφ40 |
| ④ | | 前面通し穴 | φ52もしくはφ27 |
| ⑤ | | 底面通し穴 | φ65 |
| ⑥ | | 底面通し穴 | φ52 |
| ⑦ | 伝送配線用 | 前面通し穴 | φ34 |

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-08-31 | | PUHV-MP450DMJ(-BS,-BSG)<br>設備用インバータエアコン<br>室外ユニット外形図 |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. W KB94CBY9 | REV. * |



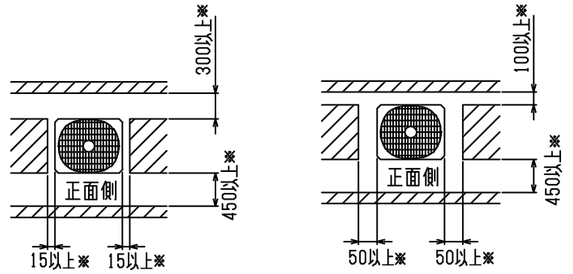
*

## 1．ユニット周囲の必要空間

### ●単独設置の場合

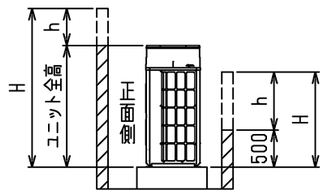
①ユニットは、下図に示す必要空間をとって設置してください。

○後面側、壁面まで300mm以上の場合 ○後面側、壁面まで100mm以上の場合



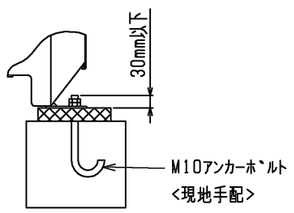

<単位：mm>

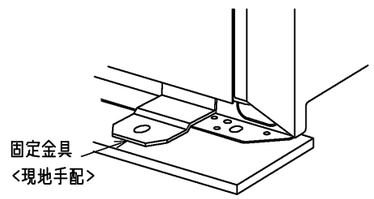
②前後、側面の壁高さ<H>が、下記＜壁高さ制限＞を超える場合
＜壁高さ制限＞を超えた分の1/2の寸法<h/2>を図中にある※印の寸法に加算してください。
ビル壁面に隣接する場合は、２方向以上を開放とし、壁面までの距離を
背面スペースは３００ｍｍ以上・側面スペースは２００ｍｍ以上確保してください。
＜壁高さ制限＞　正面：ユニットの全高以下
後面：ユニット底面から500mm以下
側面：ユニットの全高以下




## 2．基礎施工

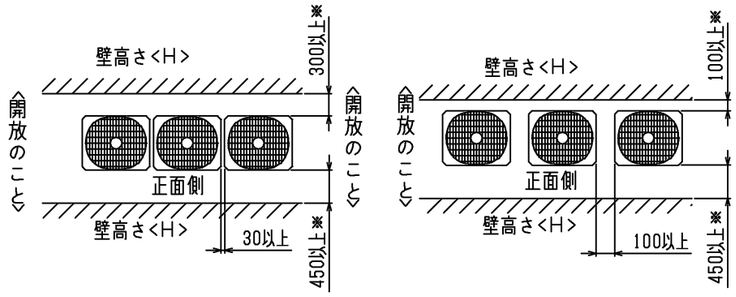
①基礎施工に際しては床面強度、ドレン水処理、配管、配線の経路に十分留意してください。
＜運転時にはドレン水がユニット外に流出しますので、集中排水する場合は、別売の集中ドレンパンを使用してください。＞
②ユニット取付部の下図コーナーを確実に受けるように基礎を施工してください。
防振ゴムを使用する場合には、幅方向を防振ゴム全面で受けるように施工してください。
③アンカーボルトの飛び出しは３０ｍｍ以下となるようにしてください。
④後打ち式アンカーボルトを使用する場合は、下図のような固定金具（現地手配）を取り付けてください。（４箇所）
また、アンカーボルトは、Ｍ１０もしくは Ｍ１２アンカーボルト（現地手配）を使用してください。
⑤小動物・雪・雨水などが配管・配線取出し部から侵入すると、機器を損傷するおそれがありますので、
開口部は閉鎖材等（現地手配）で必ず塞いでください。
⑥底面配管または底面配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。
⑦架台等に取り付ける場合、設計工事マニュアルを参照ください。

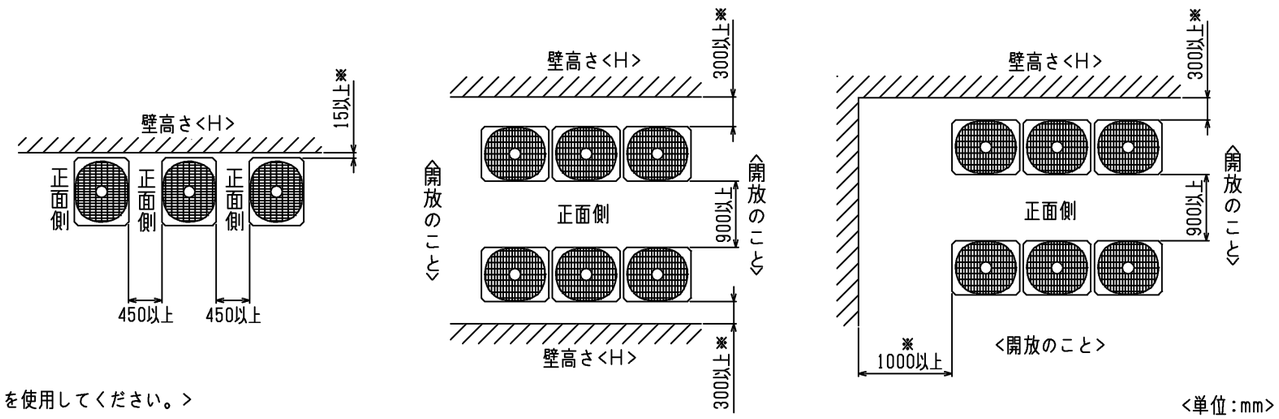



### ●集中設置・連続設置の場合

①多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、
各ブロック間に下図スペースをとってください。
②2方向は開放としてください。
③壁高さ<H>が＜壁高さ制限＞を超える場合は、単独設置の場合と同様に
＜壁高さ制限＞を超えた分の1/2の寸法＜ｈ/2＞を図中にある※印の寸法に加算してください。
ビル壁面に隣接する場合は、２方向以上を開放とし、壁面までの距離を背面スペースは３００ｍｍ以上・
側面スペースは２００ｍｍ以上・横方向連結接続時は、ユニット間のスペースは４００ｍｍ以上確保してください。
④ユニット前後に壁がある場合の側面方向への連続設置は最大６台として、
６台毎に吸込スペース兼通路スペースとして1000mm以上とってください。




<単位：mm>

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-08-31 | | PUHV-MP450DMJ(-BS,-BSG)<br>設備用インバータエアコン<br>室外ユニット外形図 |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. W KB94CBY9 | REV. * / PAGE 2/2 |

*

注1.入出力信号用コネクタの接続はシステム設計工事
マニュアルを参照してください。

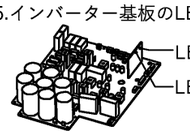
注2.同一冷媒系統の室外ユニット間の配線接続は、
システム設計工事マニュアルを参照してください。

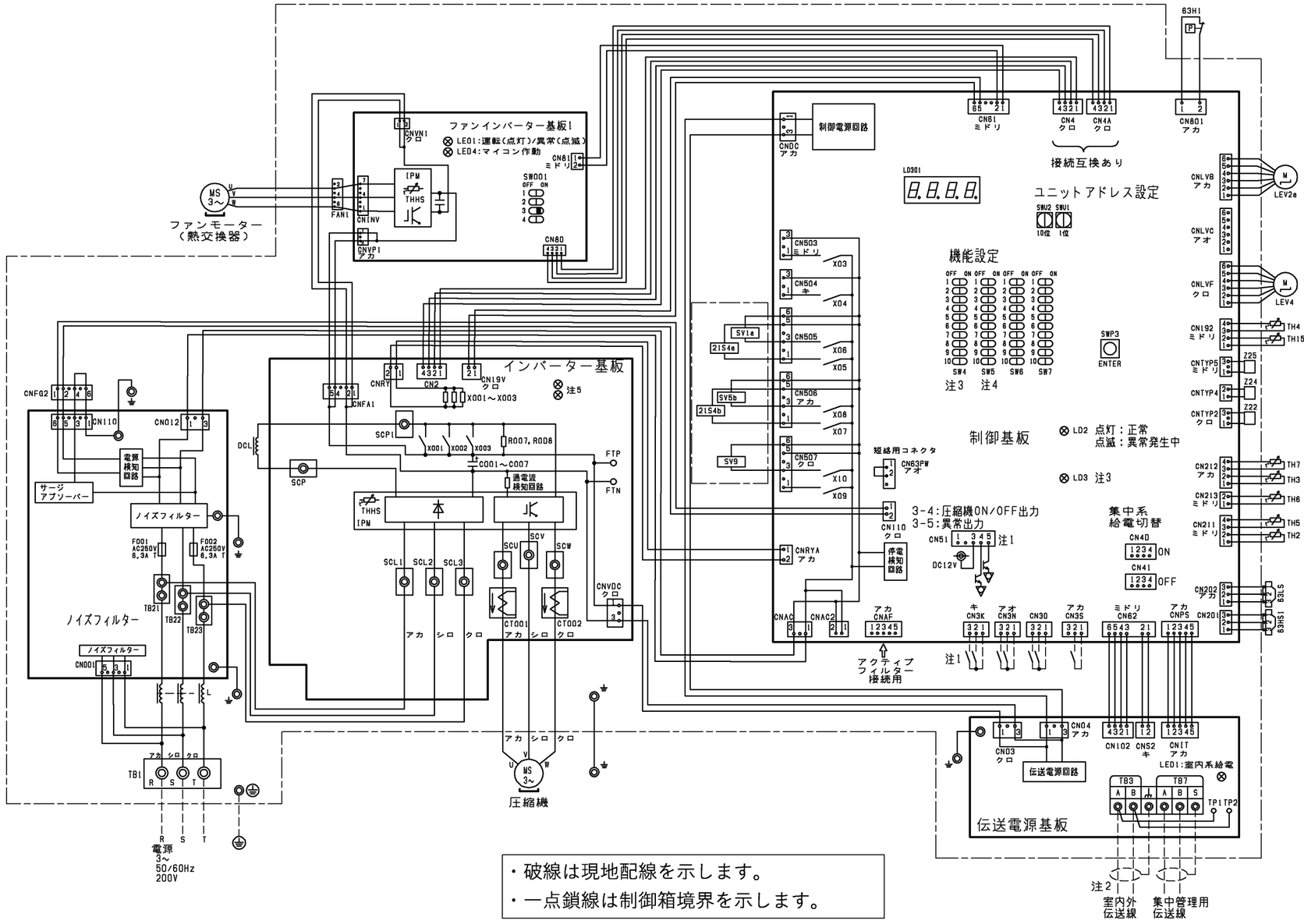
注3.SW4：全てOFFの場合
・LD3　点灯：運転
点滅：立ち上げ中
消灯：停止
その他の設定、モニタ項目は、据付説明書・
サービスハンドブックを参照してください。

注4.集中管理スイッチの設定（SW5-1）

| システム構成 | SW5-1 |
|---|---|
| システムコントローラーとの接続システムなし | OFF |
| システムコントローラーとの接続システムあり | ON |

注5.インバーター基板のLEDは以下を参照してください。




・破線は現地配線を示します。
・一点鎖線は制御箱境界を示します。

| 記号 | 名称 | | 記号 | 名称 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 21S4a | 四方弁 | 冷暖切換 | SV1a | 電磁弁 | O/S下バイパス回路 |
| 21S4b | | 熱交換器容量切換 | SV5b | | 熱交換器容量切換 |
| 63H1 | 圧力スイッチ（高圧過昇保護） | | SV9 | | 高低圧バイパス回路 |
| 63HS1 | 圧力センサー | 吐出圧力 | TB1 | 端子台 | 電源 |
| 63LS | | 低圧圧力 | TB3 | | 室内外伝送 |
| X001～X003 | 電磁継電器（インバーター主回路）72C | | TB7 | | 集中管理用伝送 |
| C001～C007 | コンデンサー（インバーター主回路） | | TH2 | サーミスター | SCバイパス出口温度 |
| CT001,002 | 電流センサー | | TH3 | | 液管温度 |
| DCL | 直流リアクター（力率改善用） | | TH4 | | 吐出温度 |
| L | チョークコイル（高周波ノイズ除去用） | | TH5 | | Acc流入管温度 |
| LEV2a | 電子膨張弁 | 圧力制御、流量調整 | TH6 | | SC液側温度 |
| LEV4 | | インジェクション制御 | TH7 | | 外気温度 |
| R007,008 | 抵抗 | 突入電流防止 | TH15 | | 圧縮機下部シェル温度検知 |
| | | | THHS | | IPM温度 |
| | | | Z22,Z24,Z25 | 機能設定素子 | |

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|---|---|---|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 2026-03-23 | | PUHV-MP400KDMJ(-BS,-BSG)<br>PUHV-MP450DMJ(-BS,-BSG)<br>設備インバーターエアコン<br>室外ユニット　電気配線図 |

| 尺度 SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. | REV. | PAGE |
|---|---|---|---|---|
| DO NOT SCALE | | W KE94L645 | * | 1/1 |

*

# 耐塩害・耐重塩害仕様書

## １．適用

この仕様書は、次の環境汚染地域にパッケージエアコンの室外ユニットを据付ける場合に適用されます。

１）適用機種 ： PUHV-MP224～500(K)DMJ形 -BS,-BSGタイプ

２）適用環境

**耐塩害：潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所**

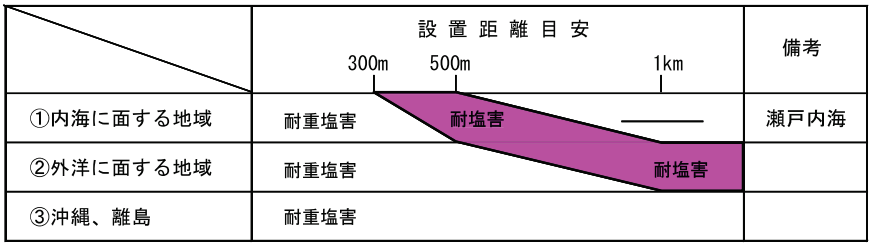
■具体的には ①室外ユニットが雨で洗われる場所。
②潮風の当たらないところ。
③室外ユニットの設置場所から海までの距離が３００ｍを越え１ｋｍ以内。
④室外ユニットが建物の影になる場所。

**耐重塩害：潮風の影響を受ける場所**

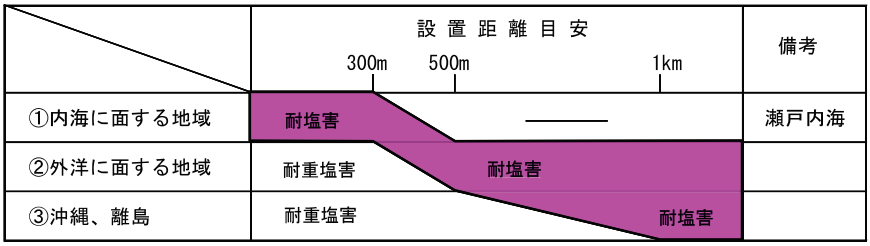
■具体的には ①室外ユニットに雨があまりかからない場所。
②潮風が直接当たるところ。但し、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所。
③室外ユニットの設置場所から海までの距離が３００ｍ以内。
④室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所。
⑤室外ユニット設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所。

**海岸からの設置距離目安（設置環境により条件が変わります。）**

①直接潮風の当たるところ




②直接潮風の当たらないところ




| 三菱電機株式会社 | 作成日 | 2026-10-05 | 仕様書番号 | WYNB1-8569 | 副番 | ＊ |
|---|---|---|---|---|---|---|

## ２．留意事項

耐塩害・耐重塩害仕様を使用した場合でも腐食・発錆に対して、万全ではなくパッケージエアコンの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

１．耐塩害仕様の場合においても海水飛沫および潮風に過度に直接さらされる場所、耐重塩害仕様の場合においても海水飛沫および潮風に過度に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置願います。
２．室外ユニット外装パネルに付着した塩分等の雨水による洗浄効果を損なわないように、日除け等は取付けないでください。
３．室外ユニットベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に据付け願います。
４．特に海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
５．据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をしてください。
６．機器の状態を定期的に点検してください。（必要に応じて再防錆処理や、部品交換を実施してください。）

## ３．仕様一覧

| 部品 | | 仕様 | 標準仕様 | 耐塩害仕様(BS) | 耐重塩害仕様(BSG) |
|---|---|---|---|---|---|
| ベース組立 | ベース | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | ベースアシ | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| 正面パネル | | 素材 | プレコート鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| 側面パネル | | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| 圧縮機カバー | | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | 溶融アルミ・亜鉛メッキ鋼板 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 |
| | | 表面処理 | ー | | ポリエステル樹脂 |
| ファンガード | | 素材 | 耐候性ポリプロピレン樹脂 | | |
| | | 表面処理 | ー | | |
| プロペラファン | | 素材 | アクリルニトリル・スチレン樹脂 | | |
| | | 表面処理 | ー | | |
| 送風機台 | | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ー | ポリエステル樹脂 | |
| 熱交換器(フィン部) | | 素材 | アルミニウム | | |
| | | 表面処理 | ー | アクリル/エポキシ樹脂 | |
| 制御箱 | 外装箱 | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金メッキ鋼板 | |
| | | 表面処理 | ー | ポリエステル樹脂 | |
| | パネル | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | |
| | | 表面処理 | ー | ポリエステル樹脂 | |
| | プリント基板 | 素材 | エポキシ樹脂 | | |
| | | 表面処理 | ポリウレタン系樹脂 | | |
| | | 部位 | 配線間隔が狭い部分のみ | | 全面 |
| 圧縮機 | | 素材 | 圧延鋼材 | | |
| | | 表面処理 | フェノール変性フタル酸樹脂 | | |
| パネル固定ネジ | | 素材 | ネジ用鋼材 | | |
| | | 表面処理 | 亜鉛ーニッケル合金メッキ＋ジオメット処理 | | |

## ４．適用基準

「空調機器の耐塩害試験基準（JRA9002）」：ＪＲＡ（社団法人日本冷凍空調工業会）制定